

令和3年度授業改善推進プラン

清瀬市立清瀬第七小学校 第3学年

	授業における課題や学力調査資料から見えた課題	授業改善のための具体策	成果と課題(年度末)
国語	<p><知識・技能> ・漢字の読み書きや言語についての知識・理解を定着させ、文章を書く際に活用させること。</p> <p><思考・判断・表現> ・図書室の本やインターネットで調べたことを、相手に分かりやすいように内容のまとめりで段落をつつたり、段落相互の関係に注意したりして、文章を書かせること。</p>	<p>・新出漢字は全体指導の後、朝学習や家庭学習、小テストを活用して定着状況を把握する。また、授業中は、国語辞典を使って語彙を増やしたり、文章を読み返して修正したりするように指導する。</p> <p>・「はじめ・中・終わり」に分けた構成メモを作り、伝えたいことの中心を考えた上で、文章を書くように指導する。</p>	<p><知識・技能> ・漢字の小テストでは、約8割の児童が8割以上の点数が取れるという成果が見られた。また、新出漢字の指導の際に言葉を集めた国語辞典の使い方の指導を行ったりすることで、文章で使う言葉が以前より豊かになった。しかし、日常的に使いこなすことに関しては、継続して指導する。</p> <p><思考・判断・表現力> ・組立を意識させることで、文章の構成を理解しやすくなり、内容ごとに段落を分けて文章を書く力を高めることができた。</p>
社会	<p><思考・判断・表現> ・資料から必要な情報を読み取り、地域の特色を捉えさせること。</p> <p><知識・理解> ・主な地図記号や八方位についての知識を身に付けられるようにすること。</p>	<p>・学校図書館やタブレットPCを活用し、見学・調査したり、地図などの資料で調べたりしてまとめることを繰り返し指導する。</p> <p>・地図帳を使って、自分たちの市の位置を調べたり、白地図にまとめたりする際に必要となる方位や主な地図記号について理解できるようにする。</p>	<p><思考・判断・表現> ・資料から必要な情報を読み取る学習を繰り返すことで、その力が高まることができた。また、タブレットPCを活用し、動画や写真から調べることや見学、体験を行い、地域の生産者の思いや願いに気付かせることができた。</p> <p><知識・理解> ・地図を見たり、方位磁石を使ったりと具体策を講じることによって、主な地図記号や八方位についての知識を身に付けさせることができた。</p>
算数	<p><知識・技能> ・乗法・除法の計算や長さや重さなどの測定技能を定着させること。</p> <p><思考・判断・表現> ・図や式を使って、問題解決への思考過程を表現する力を高めさせること。</p>	<p>・定期的・計画的に朝学習を行うことで、基礎的計算への自信をさらに高める。</p> <p>・思考過程を発表する場を多く設定し、抵抗感を無くすとともに喜びを味わわせ自信をつける。また、問題解決の材料を増やせるよう、友達の良い考えを記録させる。</p>	<p><知識・技能> ・計算力や測定技能を身に付けさせることができた。除法など定期的に復習しないと忘れてしまうことが多いので、今後も定期的に継続して指導する。</p> <p><思考・判断・表現> ・友達の良い考えをよく聞き共有することで、思考過程を表現することに抵抗はなくなり、表現する喜びを味わっている児童が多い。表現が特に苦手な児童に対する手立てを今後工夫する。</p>
理科	<p><思考・判断・表現> ・問題解決のアプローチを身に付けられるようにすること。</p> <p>・差異点や共通点から問題を見出させること。</p>	<p>・体験的な活動を多く取り入れるとともに、問題解決の過程の中で「理科の見方・考え方」を働かせ、問題を追究していくことを繰り返し、理科の学習の基礎を身に付けることができるように指導する。</p> <p>・比較して考えやすいように、共通点や差異点を分かりやすく板書する。</p>	<p><思考・判断・表現> ・具体策を講じることで、理科の問題解決的な学習の基礎を身に付けさせることができた。実験や観察の結果から物の性質について考察することは、今後も学習を積み重ねていく必要がある。</p> <p>・共通点や差異点を分かりやすく板書することで児童が問題を見出すことはできるようになってきた。しかし、そこから考察し決まりを見付けることに関しては教師による指導や助言を行う。</p>
音楽	<p><知識・技能> ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付かせること。</p> <p>・音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏させること。</p> <p><思考・判断・表現> ・即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得させること。</p>	<p>・楽譜を見て、リズムや旋律、声部の重なり方、曲全体の構成などの特徴を確認したり、歌詞を音読して歌詞の内容を把握させたりする。</p> <p>・楽器の音色や響きを意識しながら、易しいリズムや旋律の演奏から始め、継続的に取り組むようにする。</p> <p>・動画を活用することで、正しい楽器の奏法を学べるようにする。</p> <p>・即興的に表現する中で、児童が思い付いた考えを、実際に音に出して確かめていくようにする。</p>	<p><知識・技能> ・音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を正しい奏法で演奏させることができた。動画を活用したことが有効だった。</p> <p>・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付かせることが十分だった。リズムや旋律、声部の重なり方、曲全体の構成などの特徴を確認する時間を設ける必要があった。</p> <p><思考・判断・表現> ・即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ることができた。児童が思い付いた考えを、自由に出し合い、実際に音に出して確かめていくような学習展開をしたことが有効だった。</p>
図画工作	<p><思考・判断・表現> ・自分の表現したいイメージに合わせて色や形を工夫して表現すること。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度> ・自分の表現を大切に作り出すことに喜びを感じさせること。</p>	<p>・掲示物をつくり、絵の具の基本的な使い方や、濃淡、色の組み合わせ、形による印象の違いが分かるようにする。</p> <p>・制作の振り返りを単元毎に行い、反省点やよかったことを考えられるようにする。</p>	<p><思考・判断・表現> ・事例に絵の具や画材の使い方の振り返りさせることで色や形を工夫しようとする意識を高めることができた。自信がなると作品に作品を仕上げている子が多いので、色をたくさん使ったり、濃淡や配色にこだわることを教師が価値付けすることで、自信をもって制作に取り組む子供を増やす必要がある。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度> ・制作の終わりに子供に作品の主題やねらいを書かせたり、友達に話させたりできるようになったことが成果である。</p>
体育	<p><技能> ・発達段階相応の技能を身に付けさせること。</p> <p>・運動に対する意欲を高めさせること。</p> <p><思考・判断・表現> ・自己の課題を見付け、その課題を解決するための活動を工夫するとともに考えたことを友達に伝えさせること。</p>	<p>・体づくり運動やサーキットトレーニングを授業の導入で取り入れることで、基本的な動きや技能を身に付けさせたり、運動の楽しさに触れさせたりする。</p> <p>・技能を高めるための場を多く設定し、自分に合った場を選んで個々の課題に取り組めるようにする。</p> <p>・友達の動きを参考にしたり、自分の動きを振り返ったりする時間を設ける。気付いたことを伝え合うことで、技能を高めることに生かせるように指導する。</p>	<p><技能> ・おおむね発達段階相応の技能の習得ができた。今後、さらに運動する時間を十分に設け、個人の課題に合った指導をすることが必要である。</p> <p>・授業の冒頭で簡単な運動を行うことで、積極的に運動に取り組む姿が見られた。</p> <p><思考・判断・表現> ・活動の後に振り返りを行うことで、自己の課題を解決することにつながられた児童もいた。しかし、個人差があるため、技能のポイントや友達の動きを見る視点を教師が提示していく必要がある。</p>
道徳	<p>・自分の考えを詳しく説明させること。</p> <p>・自分と異なる意見も受け入れ、ねらいとする道徳的価値について考えを深めさせること。</p>	<p>・「なぜそう思ったのか。」を適宜問いかけ、そうした考えに至った過程についても言語化させる。</p> <p>・役割演技や動作化なども行いながら、教材文を自分事として捉えさせる。その際、葛藤する登場人物の思いを想像させる。</p> <p>・教材に合わせて思考の流れが分かるようにしたり、中心部分を目立たせたりするなどの板書の工夫を行う。</p>	<p>・考えのわけを問いかけ、詳しく書くことを意識させることで自分の考えを深めさせることができた。</p> <p>・授業の展開で動作化を取り入れるなどの工夫を行うことで、教材文を自分のことと重ねて考えられる児童が増えた。</p>
外国語活動	<p><知識・技能> ・英語を用いて、主体的にコミュニケーションをとることの大切さを理解させること。</p>	<p>・児童が学習の中で慣れ親しんできた英語を使い、ALTや学級担任、友達など様々な相手とコミュニケーションを図ることの楽しさを実際に体験させる。</p>	<p><知識・技能> ・各ユニットで学習した英語を使って、発音したり、ゲームを楽しんだりすることで他者とのコミュニケーションを楽しむ素地を養うことができた。</p>
総合的な学習の時間	<p><思考・判断・表現> ・実社会や実生活の中から問いを見出し、自分で課題を見付けたり、情報の収集・整理・分析をしたりして、自分の考えをまとめ、表現させること。</p>	<p>・学校図書館やタブレット端末を活用し、本、インターネット、インタビュー等の情報収集の仕方に触れる機会を増やす。</p> <p>・クイズ、報告文、パソコンで作成したスライドなどの表現方法を使ってまとめる経験を積み重ねる。</p>	<p><知識・技能> ・調べ学習室、タブレット端末と併用して様々な情報に触れさせることができた。</p> <p>・タブレット端末を活用した授業を行ったことで、スライドを活用することが多くできたが、自分の考えをまとめ、表現することはまだ経験不足なため指導の積み重ねが必要である。</p>

※ 枠の大きさは適宜調整して、1枚に収まるように作成してください。